

資料1 ホール以外の施設機能

【基本理念】 新たな活力で 輝く未来へ 「文化」「ひと」「地域」の交流拠点

基本方針

身近な文化芸術の
拠点づくり

あらゆる「ひと」に
開かれた空間と交流の
拠点づくり

賑わいを生み出す
拠点づくり

時代のニーズに
柔軟に対応できる
空間づくり

実施事業

- ▶鑑賞事業
- ▶創造事業
- ▶承継事業
- ▶普及啓発事業
- ▶情報発信事業
- ▶人材育成事業

▶交流連携事業

- ▶情報発信事業
- ▶創造事業

- ★世代に応じた文化芸術の推進
- ★若者視点による事業展開
- ★「文化芸術」とまちづくり、国際交流、福祉、観光、教育との連携事業の実施

★文化部活動の新たな活動拠点

文化芸術を
体験する

文化芸術を
発信する

文化芸術を
承継する

多世代との交流

賑わい創出

- ◎市民ギャラリー
- ◎創作活動スペース(工作室、音楽スタジオ、和室)

- ◎市民活動スペース
(会議室、学習スペース、調理室等)
- ◎子育てペース(キッズスペース)、
- ◎図書スペース ◎民間テナントスペース

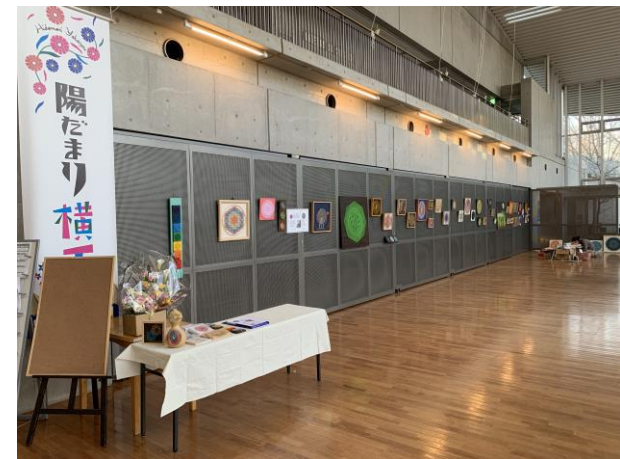
基本的考え方＝スペースの有効活用(重複利用)

新施設における諸室・スペースについては、有効活用(重複利用)ができるよう検討を進める。



【スペースの重複利用により期待される効果】

- ①施設のコンパクト化することにより建設費や維持管理費の削減
- ②効率的な施設管理
- ③フレキシブルな諸室・スペースの利用が可能となり、多様な活動の創出



【参考】小美玉市四季文化館(みの〜れ)

市民ギャラリー

- ▶市内の文化団体や小中学校、高校等による作品等の展示をするスペース。
→常設展示ではなく、普段はフリースペースや会議室などとしても活用できるように整備していく。
- ▶気軽に文化芸術に触れるという視点から、個室として整備するのではなく、共用空間との一体利用も含めたスペースとして配置することを検討する。
- ▶規模の目安としては、400㎡から600㎡程度(参考:郷の風200㎡)。
- ▶必要な設備としては、展示用パネル、展示台、照明用ダクトレール、パーテーション、ピクチャーレール 等。

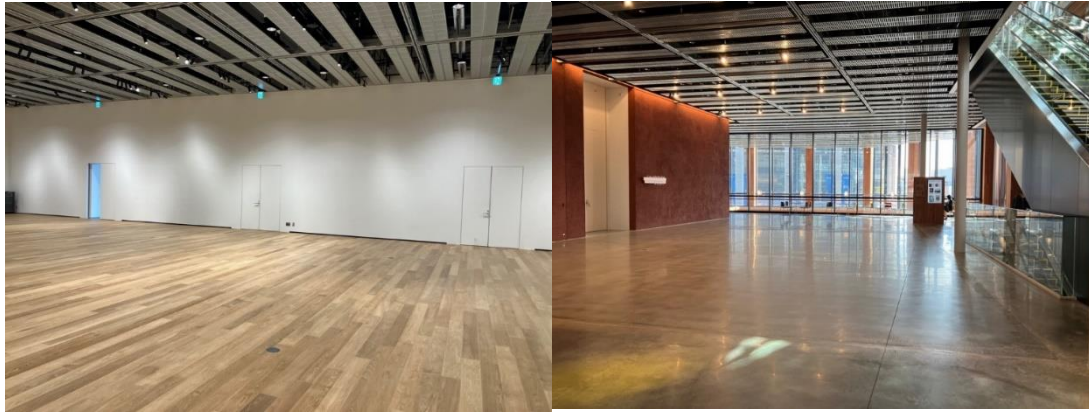


▲ 小美玉市四季文化館(みの〜れ)



▲ 釜石市民ホールTETTO

市民ギャラリー



◀ 水戸市民会館 展示室(425㎡)

展示のほか、商談会などの幅広い用途に対応可。可動式パネルによりレイアウト変更可能。展示室前の共用スペースへも可動式パネルを引き出すことも可。

石巻市複合文化施設 ▶ 市民ギャラリー(212.46㎡)

各種物販、市民サークル等による美術作品展、写真展等が開催。

小ホール(ホワイエ含む)は座席が可動式であり、市民美術展等の展示会場としても活用されている。



現状

既存の公共施設におけるギャラリー機能は郷の風ホール(八郷総合支所)のみ。

創作活動スペース① アトリエ・工作室

- ▶ 絵画や工作などの製作活動スペース。会議スペースとしても兼用可能な形で検討。
- ▶ 規模の目安としては100㎡程度。
- ▶ 機能としては、流し場等。



▲ 水戸市民会館
工作室(44㎡ 収容人数16人)



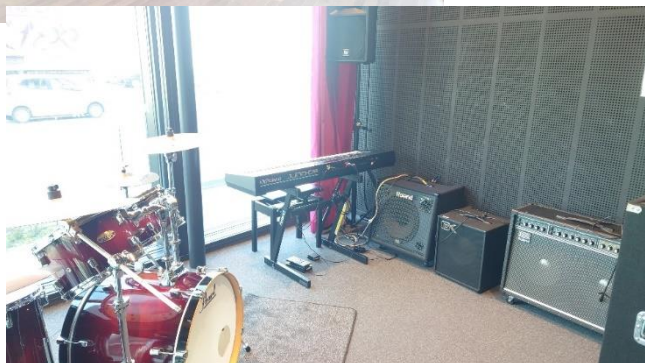
▲ 石巻市複合文化施設
創作室(収容人数36人)

現状

既存の公共施設における工作室等の機能は、地区公民館やひまわりの館に整備されている。

創作活動スペース② 音楽スタジオ

- ▶軽音楽やピアノ等に加え、ダンスや太鼓等の練習にも利用できるよう、防音設備を備えたスペースとする。
- ▶規模の目安としては、60㎡～90㎡。2～3部屋に分割。
- ▶機能としては、完全防音、空調(エアコン)の他、備え付けとしてピアノやドラムセット等が考えられる。



▲ 釜石市民ホールTETTO
(上)約71㎡ (下)約12㎡

▲ 水戸市民会館
3室(7～31㎡) グランドピアノあり

現状

既存の公共施設におけるスタジオ機能は、勤労青少年ホーム(ピアノ備え付け)のみ。

創作活動スペース③ 和室

- ▶ 茶道、日本舞踊、大正琴等の活動を想定したスペース。他自治体では、ヨガ教室や着物着付教室や販売会等による利用実績あり。
- ▶ 規模の目安としては、8畳～12畳程度。
- ▶ 機能としては、茶室として利用する際の付属機能(水屋等)。



▲ 石巻市複合文化施設
和室108.93㎡ 収容人数30人



▲ 小美玉市四季文化館(みの～れ)
和室 収容人数15人



現状

既存の公共施設における和室機能は、勤労青少年ホーム、ひまわりの館、地区公民館等。

図書スペース

- ▶日常的に利用することのできる施設であり、老若男女、利用層を選ぶことなく幅広い世代の利用者を見込むことができると考える。



▲ 大和市文化創造拠点シリウス



▲ 中央林間図書館(神奈川県大和市)

現状

個別施設計画に基づき、老朽化が進む市立中央図書館の建て替えの検討を進めている状況。中央図書館、子ども図書館本の森、郷の本棚やさど図書館の他、東地区及び城南地区公民館には図書室が整備されている。

課題

必要とされる施設規模(面積)が確保できるか。

市民活動スペース① 会議室

- ▶会議や講習会等、幅広い市民活動に利用できるスペース。
- ▶可動式間仕切りにより、複数部屋が一体利用できる等、利用形態については工夫が必要。
- ▶規模の目安としては、1部屋60㎡～90㎡程度で、複数室とする。
- ▶機能としては、机、椅子の他、ホワイトボードや映像設備(備え付けのプロジェクトやスクリーン等)。



▲ 水戸市民会館



▲ 交流拠点コンパス(千葉県香取市)

現状

中央公民館・地区公民館や旭台会館等、会議室を有する施設はあるものの、中心市街地には会議室を備え、市民活動の拠点となりうる施設はない。

市民活動スペース① 会議室

▶会議室の配置状況

施設名称	室数	各室の内訳(㎡)		床面積合計(㎡)
旧市民会館	6部屋	会議室1	72	413
		会議室2	90	
		会議室3	73	
		会議室4	59	
		会議室5	59	
		会議室6	60	
杉並コミュニティセンター	3部屋	集会室	76.57	155.5
		会議室1	41.63	
		会議室2	37.30	
勤労青少年ホーム	2部屋	集会室1	41	80
		集会室2	39	

左表に記載のある施設以外では、次の施設等が挙げられる。

▶旭台会館

会議室3部屋

(36.45㎡、65.61㎡、31.25㎡)

▶ふれあいの里ひまわりの館

介護研修室

▶各地区公民館

「基礎調査業務報告書」から

市民活動スペース② 学習スペース

- ▶高校生や大学生等の学習支援や社会人によるワーキング等による利用を想定。
- ▶整備する手法としては、次の2パターンが考えられる。
 - 【パターン①】専用スペースとして整備（交流拠点コンパス）
 - 【パターン②】共用スペースを活用した整備（水戸市民会館）



▲ 交流拠点コンパス(千葉県香取市)



▲ 水戸市民会館

現状

中央図書館2階(学習室)の他、西口交流施設2階も学生や社会人等が利用できるフリースペースとなっている。

高校生

- ▶放課後の居場所
- ▶若者が集まる＝活気が生まれる
- ▶電車や送迎の待ち時間で活用
- ▶誰もが使い、学生間の交流の場（お互いに教えあえる環境）

市民活動スペース③ 調理室

- ▶調理実習や料理教室等を行うためのスペース。
- ▶規模の目安としては、50㎡程度。
- ▶機能としては、IHクッキングヒーター、電気オープンレンジ、シンク、調理作業台等。



▲ さいたまプラザノース(さいたま市)



▲ 水戸市民会館

現状

既存の公共施設における調理室機能は、ひまわりの館、勤労青少年ホーム、地区公民館等で整備されている状況。

子育てスペース キッズスペース

- ▶天候に左右されず乳幼児が親子で遊べるスペース。
- ▶読み聞かせや紙芝居、さらには昔遊び等を通じて、文化に触れたり、多世代交流ができる場所を目指す。
- ▶規模の目安としては100㎡～200㎡程度。
- ▶機能としては、子どもトイレ、手洗い場、空調(エアコン)、床暖房等。



▲ 交流拠点コンパス(千葉県香取市)



▲ 水戸市民会館



現状

市内には遊具が設置される屋外公園があるものの、雨天時等に遊べる屋内施設は少ない状況(児童センターのみ)。

子育てスペース キッズスペース



◀ やさと中央保育所
(子育て支援センター)
約60㎡

- 板張りのフロアーにクッション材が敷かれている。
- 遊具等は移動可能なもの
- トイレや手洗い場、給湯設備等あり。

課題

自由に遊べるスペースとするのか、固定式遊具等を設置したほうがよいのか。
→対象とする子どもの年齢によりタイプが異なる。

高校生

- ▶ 高齢者による子育て支援
→遊びや文化を教え、世代間交流を図る
- ▶ 石岡を感じられる遊びスペース
→木材を活用した“森の遊園地”

民間テナントスペース

- ▶日常的に人が集まり、各々が自由な時間を過ごすとともに、コミュニケーションを生み出すことを期待。
- ▶これまで視察した施設においては、カフェ(軽飲食含む)等を設置している施設が多く見受けられた。



▲ 交流拠点コンパス(千葉県香取市)



▲ 石巻市複合文化施設

現状

駅西口には、かんぱん横丁や西口交流施設(カフェスペース)が整備されている。

課題

民間テナントをどのように誘致していくか。

高校生

- ▶若者が気軽に利用できるカフェ
- ▶直売所、郷土料理提供スペース
→地産地消や地域の魅力をPR
- ▶地域の特産品(野菜、地酒、味噌等)の販売

既存施設(地区公民館等)との関係性

施設名称	会議室	和室	音楽室	工作室	調理室
ふれあいの里ひまわりの館	○	○		○	○
旭台会館	○	○			
勤労青少年ホーム	○	○	○		
中央公民館	○	○	○	○	○
府中地区公民館	○	○		○	○
東地区公民館	○	○		○	○
城南地区公民館	○	○			○
国府地区公民館	○	○			○

◀ 市内地区公民館等の施設機能一覧
(市ホームページを基に作成)

【今後の方針(案)】

新施設では、類似機能を有する施設との間で相互に連携や補完をしながら、質の高い市民サービスの提供へ取り組んでいく。

(例)各施設をサテライトで結んでの事業実施

